

EPAハノイ便り

2月号

平成29年2月28日

ARCベトナム校発行

開講インタビュー特集

EPA第5陣日本語研修がスタートして、二カ月が経ちました。候補者240人はもちろん、新しい先生もたくさんハノイにいらっしやり、日々生活に授業に奮闘しています。今月号はそんな先生、候補者に新聞部員がインタビューを行いました。新しい生活がどうなのか、お読みください。

・水野未奈子先生(現在1組担任)

私(水野)は去年12月に日本の岐阜からベトナムに



インタビューを受ける水野先生

来ました。今EPA第5陣の1組の担任です。私は初めてベトナムに来た時、交通事情にびっくりしました。バイクが多くて信号があまりありませんから道が渡れませんでした。でも二カ月だけで慣れてきました。ベトナム料理はとてもおいしくて安くて大好きです。特にフオーとコンビンザン(ベトナムの定食屋さんのこと)です。

週末はたいいていスーパーへ買い物に行ったり、ホアンキエム湖を散歩したりしています。私の趣味はヨガをすることですが、ベトナムでは忙しくてヨガをする時間があまりありません。疲れたときにすると元気になるります。

候補者の最初の印象はまじめで一生意念勉強していると思えました。短い時間しか授業に入りませんが、わからない時、私に日本語で質問します。とてもいいことです。それにいつも元気で親切です。例えば、私が教室のテレビの使い方がわからない時、候補者が「手伝いましょうか」と言いました。その時私はうれしかったです。

日本語の勉強のために、友達と話す時も日本語で話したほうがいいです。漢字は何回も書いてポイントを注意します。「はね」「止め」「はらい」「長い」「短い」をちゃんと覚えます。ノートにまとめて、先生にもう一度確認するのが良いです。

◇インタビューを終えて(新聞部員感想)

私たちはこの方法で漢字を勉強しています。そして効果があると思います。一緒にこの方法を使ってみま

しょう。

初めて先生と話をして、熱心で話しやすいと感じました。先生にいろいろな話が聞けて勉強になりました。皆さん、一年間一緒にがんばって勉強しましょう。

(ドー・ティ・ハン／ホー・キム・オアイン／ファム・ティ・トゥー／グエン・ティ・トゥー／トゥイー／ファン・ティ・ニー)

・チャン・バン・ソン(11組候補者)



EPAのメンバーになりたい理由は日本語が好きだし、日本で働きたいからです。それに習った専門に関する仕事ができますから。それでEPAに参加することにしました。

日本語は新しい言語ですから、初めは大変なことがたくさんあります。例えば、漢字を覚えることや聴解などです。だから最初は日本語の勉強に興味がありませんでしたが、それからの方法が見つかりました。二カ月経ったあとで日本語が上手になりました。今もっと自信をもっています。

一年間、日本語能力試験N3に合格できるように計画を立てました。まずアークアカデミーの計画のとおりになります。次に自分で毎日目標を立てます。立てた目標を守らなければなりません。できなかったことは自分でもう一度チェックをします。

私の目標は次のとおりです。昼の学習に漢字を復

習したり何回も書いたりします。新しい言葉は見ながら大きい声で言います。毎晩習った文法をまとめます。寝る前に20分ぐらい聴解をします。授業中できるだけ習った言葉を使って、先生か友達と日本語で話します。わからない時、先生と友達に聞きます。今勉強について心配なことがありません。そして毎日の生活は楽しいです。

◇インタビューを終えて(新聞部員感想)

今ソンの希望は先生とたくさん話すことです。日本語を勉強することは大変ですが、がんばって12月の日本語能力試験N3と一緒に合格したいです。

(レー・クアン・ファン／ゲン・ティ・アイン・グエット
／ブイ・ティエウ・フイ／ホアン・ゴック・ルオン)

・ファン・ティ・モー(9組候補者)



EPAで勉強したいと思った理由は日本人はルールを守るのが好きだし、日本文化に興味もあるし、それで大学生の時、日本で働きたいと思いました。ベトナムで専門知識と日本語の研修についてEPAが一番いいと思います。日本へ行くようにEPAに参加しました。

今まで日本語を勉強したことがありませんから、初めはとても大変だし困ることも多かったです。勉強するのはときどきストレスが溜まります。聴解と発音

が一番難しいと感じています。いつもCDを聞くと眠くなります。発音はたくさん練習してもなかなか自然に話せません。でも、日本語が上手になるように自分に合う勉強の方法を見つけています。その上、毎日立てた計画のとおり勉強しています。授業中に集中して勉強してわからない時、すぐ先生に質問します。疲れる時、少し休んでがんばりつづけます。年間努めたら日本語能力試験N3に合格できると思います。

研修所と寮の生活はいろいろなルールを守るのが最初でも大変でした。食堂の料理の味とお母さんが作る料理はちよつと違います。でも健康のために毎日たくさん食べるようにしています。今は自分で新しい環境に慣れ、落ち着くようになりました。

12月にみんなで日本語能力試験N3に合格して、日本へ働きに行けるのはとてもいいことだと思います。

◇インタビューを終えて(新聞部員感想)

日本語の勉強は難しいことが多くて大変ですが、研修所の生活には楽しみもたくさんあります。学校へ行く楽しみとか先生と友達に会う楽しみとか。それは夢に近づく大きい動力です。

(ポー・ティ・ホアン・アイン／ダム・ティ・ゴック／ドアン・チュ／ファン・ティ・トゥー・ホアイ／チャン・ティ・フォン・トゥイー／レー・ティ・リエン)



EPA ベトナム第5陣新聞部員 前列右端が部長ドアン・チュ

新聞部員が作成した記事はいかがでしたでしょうか。部長ドアン・チュさんを中心に全員で作成に携わりました。来月号も楽しい記事が載せられるように企画中です。どうぞご期待ください。(た)